



プログラム名	みずべのいきもの なにがいる？						
対象年齢	年中・年長（4～6歳）						
ねらい	メッセージ	川や湖にはたくさんの生きものがいることに気づこう					
	発見・体感できること	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生きもの（魚・貝や水草など） ・水の流れ ・水のにおい ・川底の泥やゴミ 					
参加者のめやす	幼児 50人 / 支援者 8人						
実施時間	30分						
フィールド (実施場所)							
	森・社寺林・公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動		●配慮・アドバイス◎アレンジ				
5分	①グループごとに並ぶ ・約束事を聞く 		●危険な場所には支援者が立ちます。 ●笛の音で集合します。 ●網などの道具は交替して使います。 ●決められた場所であそびます。 ●生きものを大切にします。 ●深いところには行きません。 ◎ポスターの裏紙などに約束事を書いて、見せながら注意するとわかりやすいです。				
20分	②グループごとに川の生きものを探す ・網などを使って捕まえる  <div data-bbox="395 1818 603 1989" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> こうしたらいっぱいとれるで！ </div> <div data-bbox="676 1818 916 1989" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 小さなエビみたいなのがいっぱいいる！ </div>		●決められた場所であそべているか、網などの道具は交替で使えているかなど、様子を見ながら約束の確認をします。 ●ゴミなどを見つけたときは、「なぜここにあるのかな？」など言葉かけをし、ゴミ袋に入れるようにします。				
	・捕れた魚は観察ケースに入れる						

時 間	活 動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
5分	<p>③グループごとに捕れた生きものについて話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑で調べる ・ 他の班と捕れたものを見せ合う <p>④ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなでどんな生きものがいたのか、また、生きもの名前などを確かめる ・ 川の魚と琵琶湖の魚を比べ、川と湖の違いについて話し合う ・ 捕った生きものをどうするか話し合う 	<p>●配慮・アドバイス◎アレンジ</p>  <p>とんぼの幼虫や、「やご」って言うんや。</p> <p>◎捕った生きものを1つの大きな観察ケースに入れます。プログラム終了後に生きものの変化を見ます。</p>  <p>エビ、ヤゴ、タニシ、ドンコなどが捕れました。この水路にはたくさんさんの生きものがいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●捕った生きものは、話し合いで決まったようにします。 (例) 元の場所に還します。 ●川は危険なので、子どもだけでは行かないことを話します。
<p>【異年齢への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆0・1・2歳児： 川の中の様子や支援者が捕った魚を水槽などに入れたのをみましょう。 ◆年少：・親子で活動してみましょう。 ・浅瀬で魚の家や池を作り、魚を入れて捕ったり、見たりしましょう。 		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆物の循環を意識しながら、ゴミのことを考えてみましょう。 ◆本や図鑑で生きもの調べをしましょう。 ◆上流・下流・琵琶湖へ水が流れていることやいろんな生きものがいることを知りましょう。 ◆実際に捕獲した水辺の生きものを飼ってみましょう。 また、その生きものの住みやすい環境を作ってみましょう。 		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑 ・ 観察ケース ・ 網やペットボトルで作ったカップ ・ たらい ・ ゴミ袋 	